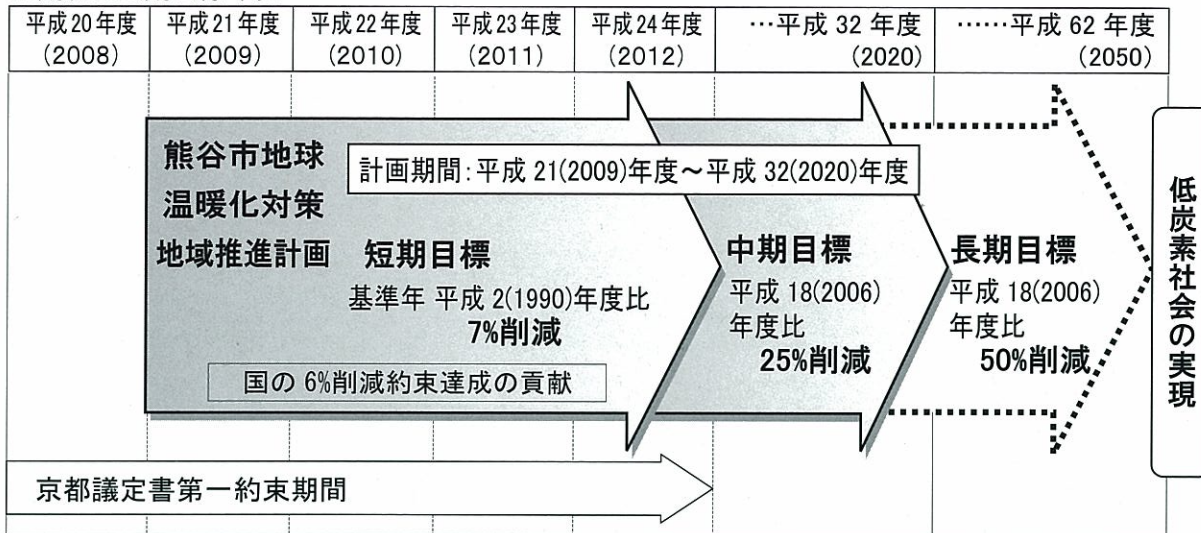


削減目標

平成24年度に平成2年度比で7%削減を目指します。

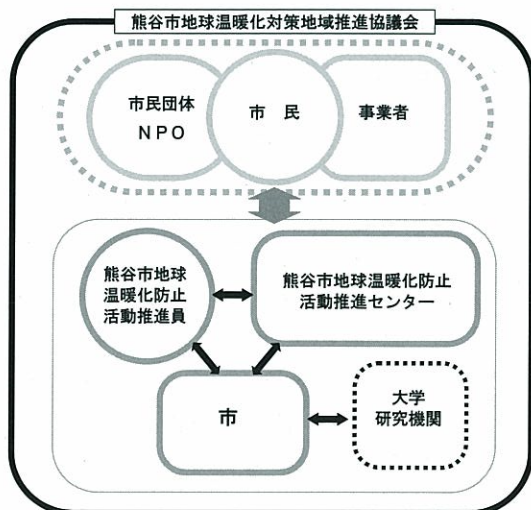
短期及び長期目標年度



削減に向けた取組み

「京都議定書目標達成計画」において、市は、市民（市民団体）や事業者にも最も身近なセクターとして、熊谷市地球温暖化対策地域推進協議会や熊谷市地球温暖化防止推進センター等と連携・協働して、より地域に密着した、地域の特性に応じて最も効果的な施策を、国や県、地域等とも連携して進めることが期待されています。

各主体の役割（イメージ）



短期目標の達成に向けた具体的取組み

| |
|--------------------------|
| 1 くまがやエコライフパーフェクトDAYの実施 |
| 2 くまがやワンルーム・ワンライトDAYの実施 |
| 3 エコライフDAYの取組みの実施 |
| 4 一般廃棄物（可燃ごみ）の削減 |
| 5 家庭での省エネタイプ電球型蛍光灯への交換 |
| 6 高効率給湯機の導入 |
| 7 太陽光発電システムの導入（住宅用、市有施設） |
| 8 自家用車の低燃費車導入促進 |
| 9 産業部門での省エネへの取組 |
| 10 業務部門での省エネへの取組 |
| 11 ノーマイカー通勤の促進 |
| 12 自動車部品のリサイクルシステムの促進 |
| 13 産業廃棄物部門での取組み |
| 14 市の事務事業からの排出削減 |



くまがやスリーミッションの実践

温室効果ガスの排出削減には、市民（市民団体）・事業者・市の連携・協働による取り組みを行い循環型社会・自然共生社会を構築していくとともに、こうしたことで低炭素社会の実現が図られることを広く認識することが大切です。

私たちは

- I くまがやエコアップ作戦
- II くまがやグリーン作戦
- III くまがや環業革命元年 宣言

のもと、一人ひとりの自覚と責任により低炭素社会の実現を目指します！

I くまがやエコアップ作戦

1 「チーム・マイナス6%」の推進でエコライフを実践

6つのアクション



- アクション1：温度調節で減らそう
- アクション2：水道の使い方減らそう
- アクション3：自動車の使い方減らそう
- アクション4：商品の選び方で減らそう
- アクション5：買い物とごみで減らそう
- アクション6：電気の使い方減らそう

1日エコライフ DAY への参加者・参加団体の拡大

夏と冬の1日エコライフ DAYの取り組みを学校・団体・職場さらに地域に拡げていきましょう。

くまがやエコライフパーフェクト DAY の推進

家族全員の協力で、エコライフ DAYのチェックシートの項目すべてを実践する日を月に1回決めて取り組みましょう。

くまがやワンルーム・ワンライト DAY の推進

家族のコミュニケーションの場として、必ず月に1回1部屋で家族全員が集まって夜のひとときを過ごす。

2 「カーボン・オフセット」の取り組み

カーボン・オフセットの推進とプロバイダーを地域の方で進めましょう。運営やそれに伴う大量の廃棄物によるCO₂やその他の温室効果ガスの排出が予測される事業や各種のイベントでは、主催者は「カーボン・オフセット」への取り組みを積極的に行いましょう。

3 「マイバッグ・マイ箸・マイカップ・マイボトル」の推進

「要りません！レジ袋」
 「持っています！マイ箸」
 「持っていきます！マイボトル」

外出時には必ずバッグの中に「マイバッグ」を入れておきましょう。予定外の買い物の際にも利用できます。また、コンビニエンスストアでは、まだ、「マイバッグ」の利用が少ないようですが、少量の買い物でも「マイバッグ」を利用しましょう。

- 事業者は 「レジ袋お使いになりますか？」「割り箸をお使いになりますか？」という声掛けをしましょう。
- 消費者は 買い物には「要りません、レジ袋」、外食時には「持っています、マイ箸」の声掛けを行い、レジ袋や割り箸の削減とマイボトルの利用でペットボトルなどの利用削減を図りましょう。

